

那須塩原駅周辺まちづくり基本計画 概要版

令和8(2026)年3月 那須塩原市

1 基本計画策定の目的

本編 P01

那須塩原市では、令和3(2021)年3月に「那須塩原駅周辺まちづくりビジョン」を策定しました。これに続き、新庁舎の移転計画や、地域が主体となった那須塩原駅周辺まちづくり協議体の発足など、那須塩原駅周辺でまちづくりの動きが誕生し始めています。

このような動きをきっかけとして、栃木県北の玄関口にふさわしい魅力ある那須塩原駅周辺にしていくことを目的とし「那須塩原駅周辺まちづくり基本計画」(以下「基本計画」とする。)を策定しました。基本計画に基づき、地域住民、民間事業者及び行政など、那須塩原駅周辺のまちづくりに関わる全ての人々でまちづくりの方向性を共有し、具体的な取組を進めていきます。

2 那須塩原駅周辺まちづくりの必要性

本編 P02~

那須塩原駅周辺まちづくりの必要性は、以下の4つの視点に整理することができます。

- 1 都市の骨格再構築における拠点性の強化
- 2 市民生活・地域経済の活力向上への寄与
- 3 持続可能な環境都市の具体化と都市ブランドの確立
- 4 公共投資の最適化と官民連携による持続的発展

3 計画期間及び対象地区

本編 P05

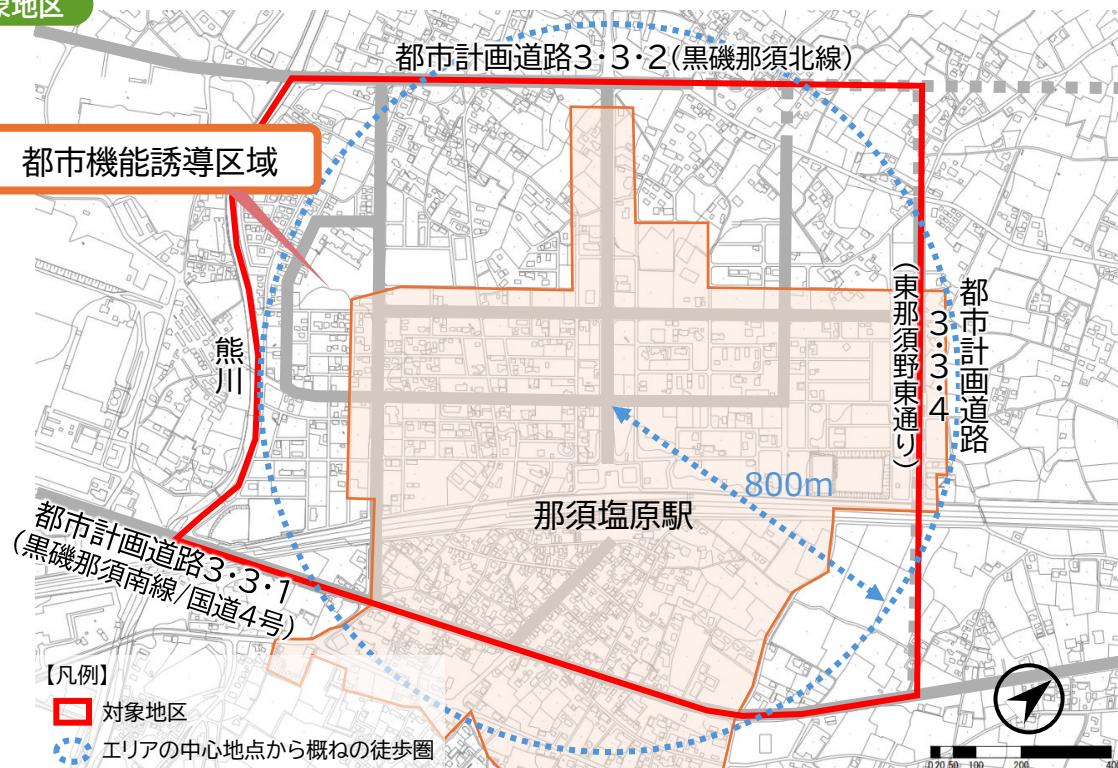
計画期間

令和8(2026)年度~令和32(2050)年度：25年間

※計画期間中も、時代の変化を踏まえて柔軟に対応する。

対象地区

※対象地区面積：約191ha



【用語の解説】

◆都市機能誘導区域：医療、福祉、商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。

4 計画策定の経緯

本編 P06~

本市では、令和3(2021)年3月に「那須塩原駅周辺まちづくりビジョン」を策定し、その実現に向けた具体的な方向性を示すための基本計画を作成することにしました。

令和5(2023)年10月に全国の都市開発に携わる学識経験者、民間事業者等で構成する「那須塩原駅周辺まちづくりランドデザイン会議」を組織し、まちづくりの具体化に向けて、専門的な見地から総合的な構想を議論し、提言が行われてきました。

その提言も踏まえながら、市民や事業者などで構成する「那須塩原駅周辺まちづくり協議体」で魅力的な那須塩原駅周辺の実現を図るための具体的な方策の検討が行われ、議論経過を取りまとめた「那須塩原駅周辺まちづくり協議体レポート」が令和7(2025)年7月に公表されました。



【参考：協議体レポート】協議体を目指す未来予想図



【用語の解説】

◆那須塩原駅周辺まちづくりランドデザイン会議：那須塩原駅周辺まちづくりプロジェクトの賛同者で構成し、まちづくりの具体化に向けて、専門的な見地から総合的な構想を議論し、また、提言していただくことを目的とした会議体。

◆那須塩原駅周辺まちづくり協議体：那須塩原駅周辺まちづくりプロジェクトに賛同する市民、民間事業者等で構成し、関係者の一体感を醸成しながら官民連携で議論を重ね、魅力的な駅周辺エリアの実現を図るための具体的な方策を検討することを目的とした会議体。

那須塩原駅周辺まちづくり協議体レポート

<https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/material/files/group/6/townplanningcouncilreport.pdf>

5 那須塩原駅周辺まちづくりの課題

本編 P10~

那須塩原駅周辺のまちの特性や現状、まちづくりを取り巻く社会動向、上位関連計画における位置付けと、地域が主体となった那須塩原駅周辺まちづくり協議体が発表した「那須塩原駅周辺まちづくり協議体レポート」を踏まえ、那須塩原駅周辺まちづくりの課題を整理しました。

整理に当たっては、今後、まちづくりを進めていくうえで重要となる「土地利用・機能」「交通・ネットワーク」「景観・環境」「魅力・コンテンツ」「体制・仕組み」の5つの視点で多角的に整理しました。

那須塩原駅周辺のまちづくりの課題

- 土地利用・機能 栃木県北の特色に応じた魅力的な空間や機能、にぎわいの場の不足
- 交通・ネットワーク 交通結節点における交通錯綜と歩きにくい歩行者空間
- 景観・環境 開発促進等に伴う那須塩原らしい景観が阻害される懸念
- 魅力・コンテンツ 那須塩原の魅力や体験を発信できる場の不足
- 体制・仕組み まちづくりをけん引する体制や仕組みの不十分さ

- ・那須塩原駅周辺のまちの特性・現状
- ・まちづくりを取り巻く社会動向
- ・上位関連計画における位置付け

那須塩原駅周辺のまちづくりの課題

「那須塩原駅周辺まちづくり協議体レポート」

